

2.祝 辞

千葉県環境計量協会創立 30 周年記念式典祝辞

千葉県知事 堂 本 暁 子



(千葉県商工労働部次長 水澤 千秋)

本日、千葉県環境計量協会の創立 30 周年記念式典が、多くの御来賓並びに関係者の皆様の御出席のもとで盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、昭和 51 年の設立以来、30 年の長きにわたって環境計量に関する技術向上と、適正な環境計量の確保を目的として各種事業を実施し、本県の公害対策と環境保全に御尽力してこられました。

津上会長をはじめ、歴代の役員、会員の皆様の熱心な御活動に心から感謝いたします。

また、ただいま表彰された皆様、誠におめでとうございます。

皆様の環境計量に対する長年の御苦勞に深く敬意を表するとともに、今後の御活躍を御祈念申し上げます。

さて、現在は大量生産・大量消費型の社会経済にあります。それは、天然資源の大量利用や急速な開発に支えられたものであり、その結果、自然界のバランスが崩れてしまったことも事実です。今日の地球温暖化を始めとする様々な環境問題はそこに原因があります。

我々が大量生産・大量消費型の社会でその豊かさを享受している以上、我々は環境問題の原因者であり、同時に環境問題の影響は極めて広範囲に及ぶことから被害者であるとも言えます。

したがって、全ての人々が、当事者の意識を持って、それぞれの役割に応じて、日常的に環境に配慮した活動を行っていかねばならないと考えています。

県では、県政の中長期基本方針である「あすのちばを拓く10のちから」をこの3月に改定いたしました。県民や地域が本来持っている根源的な「ちから」に着目し、千葉県の持続的な発展を図るためのものです。

その10本に取りまとめたちからのひとつに、「みどりのちから」を位置付けています。

これは、次の世代の人々に、より豊かな自然環境を引き継ぎ、良好な環境のなかでこれからも暮らしていけるようにしていくことは、本県の持続的な発展と県民一人ひとりの幸せを実現するうえで、欠かすことができないと考えたからです。

そして、今日、環境の保全に関して、化学物質の影響が注目されています。化学物質を的確に計量・分析し、その影響を明らかにするためにも、環境計量証明事業者の皆様へ寄せられる社会的な期待はますます高まっております。

貴協会では、日頃から計量・分析技術の向上や、環境計量証明事業の発展に努められています。中でも大気・水・土壌などに含まれている物質の抽出・分析に加えて、より高い技能と精度が求められるダイオキシン類等の極微量物質の濃度の計量証明事業にも取り組まれ、県民の健康の維持と環境の保全に極めて大きな御貢献をいただいているところです。今後の皆様方の積極的な御活動に県としても大きく期待申し上げますとともに、引き続き県行政に対し、御支援・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、千葉県環境計量協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成18年7月14日

千葉県知事 堂本 暁子

千葉県環境計量協会創立30周年記念式典ご挨拶

社団法人 日本環境測定分析協会
専務理事 山村 修蔵



ただいまご紹介にあずかりました社団法人日本環境測定分析協会専務理事を仰せつかっております山村でございます。

本来なら、社団法人日本環境測定分析協会 笠井 光博会長が出席してご挨拶を申し上げるところであります。所用で出席できなくなり、笠井会長に代わりまして、甚だ僭越ではありますが私から一言ご挨拶を申し上げます。

先ずは、こういうおめでたい席にご招待に預かりましてありがとうございます。また、常日頃から日環協の事業等に多大なご協力いただき併せてお礼申し上げます。

本日は千葉県環境計量協会創立30周年記念おめでとうでございます。このように盛大な式典が開催されることは、津上千葉県環境計量協会会長をはじめ、関係各位の方々のなみならぬご努力の賜だと思っております。

千葉県環境計量協会では、環境測定分析技術の維持・向上めざした研修会・講習会、時期を得た講演会、千葉県庁及び千葉県計量検定所との交流、また、会員相互の情報交換等活発に活動されていると聞いております。

環境測定分析業界は、我が国の経済の好調さの恩恵を受けず、価格問題等厳しい状況が続いております。平成15年経済産業省の環境証明業の統計によりますと1,225事業所の売り上げは、182,239百万円となっております。環境測定業

者は1,700強あると言われております。

このような状況であります。日環協では我々の使命であります「信頼性のある環境測定分析データの提供」を念頭に、「信頼性確保」を最重点に事業を進めていくことにしております。

その一部を紹介いたしますと、①企業の社会的責任に対しては、昨年作成いたしました「環境測定分析業界における企業行動規範」、本年に作成いたしました「環境測定分析技術者のための倫理規範」の遵守 ②環境測定分析技術者のスキルアップ、外から見える分析技術評価を目的とした日環協独自の「環境測定分析士」制度の創設と実施、③精度（品質）管理の向上のための内部監査員の教育・研修や試験所における測定分析技術の向上を目指した技能試験等様々な事業を展開していきたいと考えております。

一方、経済産業省では計量法の改正議論が活発に行われております。環境計量については、①「計量士の技能の維持・向上」のための更新制の導入 ②「計量証明事業者の能力・品質の担保」をどうするか ③トレーサビリティの取れた標準物質が開発されていない場合に、NIST等が開発した海外の計量標準や日本国内の民間団体等が開発した計量標準等を迅速に計量標準を供給する枠組みの国家計量標準制度（仮称）創設、④特定計量証明事業者認定制度（MLAP）の改善として、認定基準をISO/IEC 17025への整合化 等々の議論が活発に行われております。我々はこの議論に注視する必要があります。

21世紀は「環境の時代」といわれ、環境測定分析事業者に与えられた使命は大きく、その責任は重大であります。そのため、環境測定分析データの精度（品質）の質が問われることになると思います。

日環協としましても、千環協との連携を深め、事業を展開したいと考えています。

今後とも皆様方のご協力をお願いする次第です。

最後になりましたが、千葉県環境計量協会の益々のご発展と本日ご出席の皆様方のご健勝とご発展を祈念いたしまして甚だ簡単ですが私の祝辞といたします。

どうもありがとうございました。

表彰者を代表して 一功労者表彰者挨拶一

第8代 会長 名取 昭平



ただいまご紹介いただきました、前会長の名取です。

このたびは、功労者表彰をいただきまして、ありがとうございました。

同じく表彰いただきました、私の前の会長の中村さんが中心となりまして、20周年記念式典を行いましたのが10年前ですが、ついこの間のことのように、あっという間の10年経過です。

このような協会活動で、一番苦勞いたしますことは、活動がマンネリ化して停滞してしまうことにありますが、幸い、千環協は、諸先輩のご尽力で、各種委員会活動等々、よき仕掛けを作っていただけましたので、長きにわたって続けることができたものと思います。ただ、仕掛けだけでは無理ですので、やはり会員各社が本当に地道に、積極的にご参加いただけたことの成果が、この30周年記念であろうかと思えます。さきほど、「環境の世紀」とのお話でしたが、私どもも、環境にかかわっているわけですので、大変なビジネスチャンスにめぐまれていることとなります。あまり枠にこだわらず、見方を変えて、ぜひこのビジネスチャンスを生かして、会員各社が大きく飛躍され、千環協もともに大きく飛躍されることを祈念いたします。

簡単ではございますが、御礼のご挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。